

泉大津 包括だより

夏号

発行所
泉大津市地域包括支援センター
(泉大津市社会福祉協議会)
Tel 0725-21-0294
〒595-0026 泉大津市東雲町 9-54

今年フレッシュさん!

今年4月、主任介護支援専門員の尾生屋綾と、
社会福祉士の荒木友美の2名が地域包括支援センターに配属されました。

この4月に地域包括支援センターに配属されました荒木友美と申します。桜の咲いた市内を移動中、犬の散歩や買い物帰りの高齢者の方とすれ違い、元気に挨拶をしていただけて嬉しかったです。高齢者の方が住み慣れた地域で安心してその方らしく過ごしていけるようにお手伝いさせていただきます。慣れない点もございますが、これからよろしくお願いします。



地域のみなさん、よろしくお願ひします!



認知症カフェ 花水木の会

認知症の人、家族、サポーターなどいろんな人が知り合い、つながる場です。
お気軽にお越しください。

①風街（中央商店街）毎月・第4水曜日・午後1時～3時

参加費無料/飲み物代 100円

②紅球院ハマダ（東助松町4-3-41）毎月・第2金曜日・午後1時～3時

参加費無料/飲食代はメニューの価格どおり

③愛の家グループホームあびこ（我孫子150番地）

偶数月・第2土曜日午後1時30分～3時/参加費無料

問合 地域包括支援センター（21-0294）愛の家グループホームあびこ（21-7150）





シリーズ 元気の秘訣



下条町
田口 鹿一さん
(97歳)

Q. 今の楽しみは？

A. 若いころから考古学が好きで、世界中の遺跡を見に行き、写真を撮っていた。今は、その時の写真や記録の整理をしているのが楽しい。現地でも撮った写真はどれも宝物。

また、テレビや新聞に新しい遺跡の情報を得ながら、勉強することも好き。

Q. 健康の秘訣は何ですか？

A. 医者「言われて歩いてくる程度で特に何もしていない。

妻が食生活に気をつけてくれている。

自家菜園で野菜を30種類、果物を7種類作っていて、スーパーで買える物をする時には、防腐剤、化学調味料、着色料が入っていないものを購入してくれている。

Q. 一番よかった頃は？

A. 国内外問わず遺跡に興味があり、海外には80回行った。(メキシコ、グアテマラ、中国など)その内、50回は夫婦で行き、30回は考古学の仲間といっ

た。
メキシコが一番好きで6回行った。足が痛くなければもう一度行きたい。

博物館などに行くと、いろんな考古学の先生があり、その先生しか知らない話や発掘時のエピソードを聞くことが楽しい。時には、お酒を飲みながら話を聞くことも…。

池上曾根遺跡でアルバイトをしていたことがあり、3年程土器の修復をしていた。土器や模様が載っている本を見ながら、頭の中で想像し、パズルのように組み立てていく。時には、1日、2日答えが出ないこともある。その分、出来たときは嬉しい。

Q. 若い人達へ一言お願いします

A. 好奇心を持つことが大事。そして、絶えず前向きであること。好奇心が趣味となり、生きがいとなる。

田口さんインタビュアーに答えてくださり、ありがとうございます。



カンボジアの子どもたち

マヤの天文台 (メキシコ)



編集後記

今回の「元気の秘訣」のインタビューでは、ご夫婦からお話を聞かせてもらいました。二人とも、考古学が好きで、楽しそうにお話ししてくれました。ことが印象に残っています。

追伸

90歳以上でインタビューを受けてくださる方を募集

中！
ぜひご協力ください。

